

【コラム】 がんゲノム医療

ゲノムは体をつくるための設計図であり、両親から受け継いだ情報が含まれています。1人のゲノムには約2～3万種類の遺伝子が含まれていると言われており、一部が異なることで外見や性格等、一人一人の個性が生まれます。

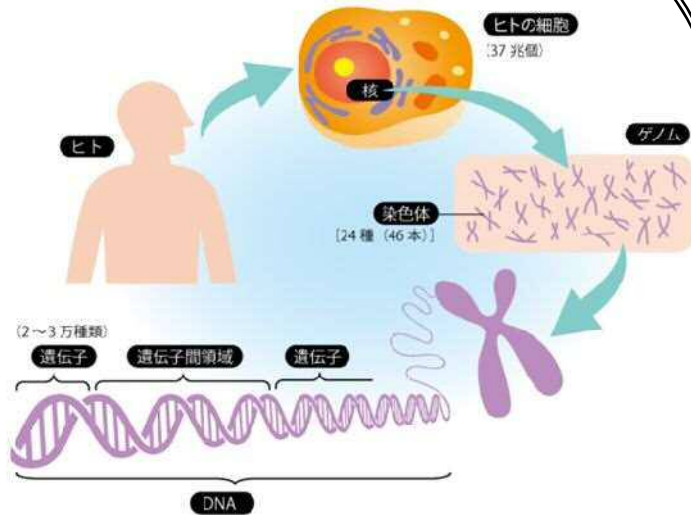
がんは、ゲノムの変化により遺伝子が正常に機能しなくなった結果、起こる病気であり、①喫煙、加齢等が原因と

なる遺伝子変異によるもの②生まれつき存在する変異によるものに分けられます。

がんゲノム医療では、主にがんの組織を使って100以上の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」によって、一人一人の遺伝子の変異を解析し、がんの性質を明らかにすることで、体質や病状に合わせた治療を行います。

今後、ゲノム医療によって、より効果が高い治療薬の選択が可能となり、患者一人一人に適した「個別化医療」の推進が期待されています。

ゲノムと遺伝子



がんの治療法

